

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

食・運動・睡眠等日常行動の作用機序解明に基づくセルフマネジメント

3. 研究開発課題名

運動の健康維持・増進効果の分子機序解明

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

澤田 泰宏(国立循環器病研究センター研究所細胞生物学部 客員部長)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、メカノバイオロジーの視点を中心に、基礎研究と臨床研究を通して、運動による健康効果の作用機序解明を目指すものである。

メカニカルストレスが身体のさまざまな機能に与える影響について検討し、身体運動による高血圧改善のメカニズムを明らかにした。これらの成果を体系的にまとめ、ハイインパクトな国際誌に論文が受理されるなど、学術的意義の大きい成果を挙げたと評価される。

また、成果の社会実装に向けて、運動ができない人たちでも身体運動と同等の効果を得る装置の開発を行うなど、着実な成果が認められる。

今後は、運動効果のより多角的な作用機序解明に向けて研究開発が発展することを期待する。

以上